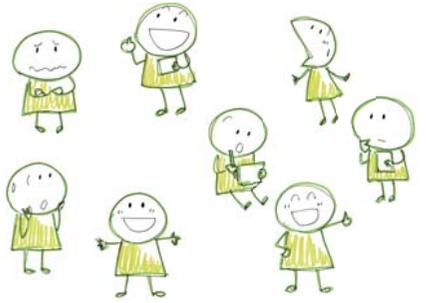


みんなで考えてみよう

一原発事故から学ぶ私たちの未来— SDGsとコミュニティパワーの可能性

原発立地地区の7つのYによる 第3期LA (2023~24)



私たちの未来 後編

2011年の原発事故で、人生が変わってしまった人たちがいます。ふむ、自然と原発、痛を得た人もいます。ドキュメンタリー映画「生きて、生きる。」(島田陽雄監督)観てみてね。映画「おたけやの革命」「遊遊島史監督」では、自然エネルギーの利用で地域再生を目指す各地の取り組みが紹介されています。本島の豊かさを生かして、生きて、生きる。新しい生き方を模索する若者もいます。「岩瀬シエツハワス」の紹介をご覧ください。(里面)

わたしたちの未来は、過去である歴史と今と地続きで、わたしたちが「ス」なことを目指しています。SDGsは2030年の目標を示しているけれど、身近なところで、タネミツクな要素が求められているだけで、身近なことを変えていくことが出来る。わたしたちが「ス」なことを目指しています。



わたしたちの未来 前編

どんな未来を思い描きますか？
わたしたちの5年後 10年後 うーん♪ 50年後 100年後！(笑)

イロコイ族ネイティブ・アメリカンの教えでは「〜どんなことでも7世代先まで考えて決めねばならない」という言葉があるそうです。

わたしたちの未来は、今のわたしたちとつながっています。例えば、みんなが幸せに暮らしていきたいなあ？

幸せって？どんな暮らし方がいいなあ？
平和じゃなきゃ！戦争がないってことはもちろんだよ。
そして、あらゆる差別のない、一人ひとりが大切にされる社会がいいなあ？

みなさんは、どんな暮らし方がいいでしょうか。
朝、起きてー(爆音で目覚めちゃうのはイヤだー)
お天気は穏やかで(できるだけ地球温暖化の影響は避けたい)
「今日は喜んでこのことをしよう！」
と明るい気持ちでいられたらいいなあ！
そうだ！
いのちを大事にできる生活がしたい・・・。



C ヤマオリ



南阿蘇の自然の中で生きる人の声や川内原発の見学を通じて、自然と原発、人の生き方について深く考えさせられました。自然と原発、参加者が自由に語る姿も印象的でした。原発発電は自然と共に生きる魅力的な選択技法です。原発のような危険なものは手放したいと思ったり、旅を終え日常に戻ると、思いを行動に移す難しさを痛感しましたが、まずは即電など小さな行動から始めたいと思います。

(7ノールトワークに参加したH.M.さん)

熊本・鹿兒島7ノールトワーク

2023年11月3~4日

A ヤマオリ

2023年9月10日 オンライン学習会 1

佐々木寛さん(新潟国際情報大学教授)のお話 「原発をなぜ動かしてはいけないのか？ 経済・安全・民主主義」

原発型社会とはどのような社会なの？
秘密主義的、軍事的、中央集権的で地域分断型 トップダウンでコントロールする社会、つまり民主主義ではない社会のことだよ。



では脱原発型社会とはどのような社会なの？
地域分散型、ネットワーク社会、自治・合意形成が大切な民主主義の社会だよ。

エネルギーの形を変えることで社会は民主的で平和な社会に変わるんだ！
エネルギー・デモクラシーに挑戦しよう！
「全国ご当地エネルギー協会」が設立されて、全国でエネルギー・デモクラシーが始まっているよ！

エネルギー・デモクラシーを目指すためには、コミュニティパワーが必要だよ！



2023年8月26日 オンライン学習会 2

古屋将太さん(ISEP 研究員)のお話 「コミュニティパワーの可能性 —進化する世界の取り組み—」

コミュニティパワーって何？
地域の人々がオーナーシップをもって進める自然エネルギーの取り組みのことだよ。



1980年代から90年代にかけて、デンマークで協同組合形式での風力発電事業が世界に先駆けて普及したよ。これが後に地域がオーナーシップを持って自然エネルギーに取り組む際の重要なモデルとなったんだ。

日本でのコミュニティパワー事業の源流は長野県飯田市だよ。日本でも市民出演による自然エネルギー事業が少しずつ実績を出しているよ。
例えば「全国ご当地エネルギー協会」のウェブサイトを見ると全国ご当地エネルギーマップがみられるよ！

コミュニティパワーのエネルギーで地域を豊かに、そして社会の変革を目指そう！



D ヤマオリ

竹田しず子さんに聞く「大間原発大間違い！」

2024年7月27日 オンライン学習会 3

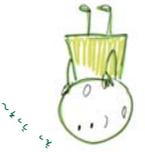


本州東北・青森県大間。マクロをはじめ海が豊かな地に「大間原発」が建設中です。竹田しず子さんは海を扱った映画「北海産物で産物回を結成し、フランスの川に川を流す」で有名な作家です。大間原発大間違い！！

7月10日 MOX 原発はいけません。大間原発大間違い！！

竹田さんは「GX(脱炭素・グリーンエネルギー)の社会へスムーズな移行(組)と称し、原発再稼働、運転期間延長、新しい原発をつくる(組)と称し、GX推進法(施行)3.11を経験しても政府はわからない？

地域温暖化対策と原発の稼働は両立しません。自然エネルギーの電気を使って、すべての原発を止めましょう！



*竹田しず子さんは2025年2月28日天に召されました。魂の平安を祈ります。



<川内原子力発電所>
九州の原発では初めて40年の運転期間を超えて20年の運転延長が国から認可。活火山、地震、阿蘇の中ほどに位置する原子力発電所。安全性は担保されているとは思えない。その原子力発電所を望む展示館を見学。

<鹿兒島・薩摩川内市>
上川畑未さんは原発のある町で生活し、脱原発を訴え続けている。その苦悩は想像以上にリアル。反響を振り上げるのではなく、時間をかけて話し、時間をかけて理解してもらおう。「原発ON！」の活動は止めないで強く言われた。

山崎

新潟YWCAからII

【おらっぺにいがた市民エネルギー協議会】
コンセントの向こう側に無関心だった私たちがいた。原発事故から学び、新潟の市民が自然エネルギーで「でんき」をつくった！そして信頼を育みながら話し合う場もつくった！みんな集まれ！いのちを大切に作る世界をつくる。
<https://www.oratte.org/>



函館YWCAから

泊原発が再稼働しようとしているよ。安全審査にもうすぐ合格するんだって。でも埋立て地に建ってるんだよ。断層が11か所あるんだよ。海底の活断層の長さが70kmに及び事がわかったのに無視してない？どうして合格なのか意味わからない！



仙台YWCAから

宮城県にある 女川原発は
2011年の震災で 事故にならなかったもの
それは奇跡的なことで「古いよ あぶないから
もう 停めたままにしようよ」と多くの人が
思ったのに、是非を問う「県民投票」もせず
11万もの署名を集めて 請願したのに！！
地元 河北新報への 再稼働反対意見広告（紙面デ
モ）もスルーされての 再稼働…困ったもんだ～！



「岩室シェアハウスとも家」は地域のうちとそとをつなぐ、滞在・活動拠点です。「暮らし」の空間と「学び・交流」の空間が重なりあう日常をめざし、独自のライフスタイルを仲間たちと探求しています。稲作や養鶏などの農的な実践を行うと同時に、勉強会やセミナーの実施、さらには、岩室地域と「とも家」での暮らしを体験する滞在プログラムの構築など、様々な活動を通じて、自分の生き方を真剣に考え、生活をつくっていくための緩やかなつながりを生み出しています。



光ささや



新潟YWCAから

世界一の柏崎刈羽原発（新潟）は、豆腐の地盤に建っているって。東京電力が運営してるよ。そう、福島原発と同じ東京電力。7基の原子炉があって、作った電気はほとんど東京近辺で使われる。もしも、原発事故が大雪の日に起きたら、避難はムリだ。
そして—ミサイルが原発に落とされれば、避難する間もなく被ばくさせられる。



でも 困ってるだけではなくて 女川町では再エネ比率の高い「バルシステムでんき」を始めたりにしてよ
「原発問題ってこわい」で 声をよく聞かされるけど、もっと 気軽に 知ってほしくて 原発問題を愉快に分かりやすく伝えてくれる「朗読劇紙芝居『ごめんさい、ずっと嘘をついてきました。』（原作・演出 加藤就一 脚本・出演 和田恵秀）の DVD 上映 & トークを やったりしたんだよ 諦めず みんなで 未来につながる光ささぎしていこうよ～♪



再エネ情報 1

2019年に完成した福島県二本松市にある「二本松営農ソーラー&sunshine」一戸一本のブドウを購入して名前を命名し、その木から収穫されたブドウが届くというサポーター制度に申し込んだ。ソーラーシェアリングに定植されて3年目の昨年9月に初めての私のブドウが届いた！感動！
ソーラーシェアリングの可能性を余すところなく表現したおすすめ映画情報映画『陽なたのファーマーズ』
<https://hinata-movie.com/>



福島YWCAから

福島第一原発事故で出た燃料デブリは 880 トン。13年たってやっと試験的取り出し 1 回目 0.7 グラム、2 回目 0.2 グラム！耳かき 1 杯程度だって。しかも 1 回の作業に 1 週間以上かかって。気の遠くなる回数と年数。廃炉費用も 23 兆円の試算から大きくなっている。



熊本YWCAから

川内原子力発電所がどこにあるか知ってますか？
九州の5つの巨大カルデラ（阿蘇カルデラ・小林カルデラ・始良カルデラ・阿多カルデラ・鬼界カルデラ）の巣の中にあります。避難経路も確立してないんです。3000人が運転差し止めを求めると、火山噴火や地震で事故が起こる危険性はないという判決。福島経験はどこへ？！
どうかしてる！！



松山YWCAから

四国の自治体は南海トラフ地震がくるぞー！
という防災訓練をせっせと実施しています。であるならばみんなで原発止めよう！になるのが当然ですがなりません。伊方原発がやられたら 瀬戸内海が「死の海」になるかも！
なのに。命が失なわれることのないように、いつもこんなことを思っています。



静岡YWCAから

活断層の真上にあって世界で一番危険と言われて、福島事故の後、菅首相の要請で停止している浜岡原発は、高さ28Mのベラベラの防波壁を作って再稼働しようとしているよ（＃＃＃）
2025年5月15日には廃炉作業中の2号機で火事があったよ（・〇・）大事に至らなくてよかったけど。経験から学べないのはおろかだよ（；ω；）が…

